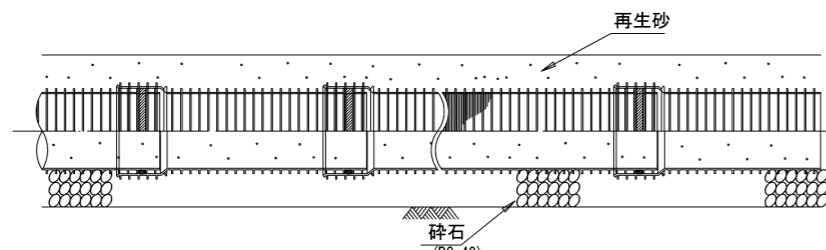


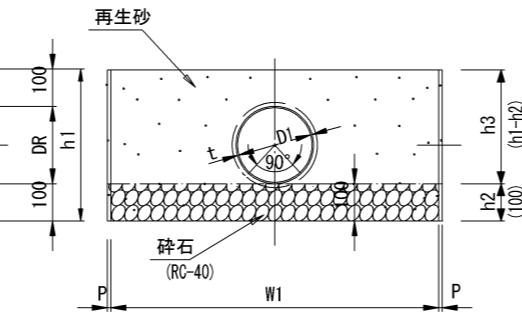
リブ付硬質塩化ビニル管布設図

S=1/N

管基礎工図

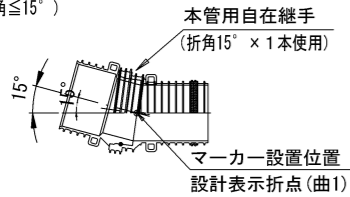


断面図



曲線施工部 配管標準図

15° 折点 (折角 ≤ 15°)



管材寸法表

管径 (D1)	t	管外径 (D)	リブ外径 (DR)	標準管長	換算
φ 150	2.75	155.5	171.0	4.000	$t' = (DR-D1)/2$ [10.5]
φ 200	2.75	205.5	228.8	4.000	$t' = (DR-D1)/2$ [14.4]
φ 250	3.05	256.1	288.8	4.000	$t' = (DR-D1)/2$ [19.1]

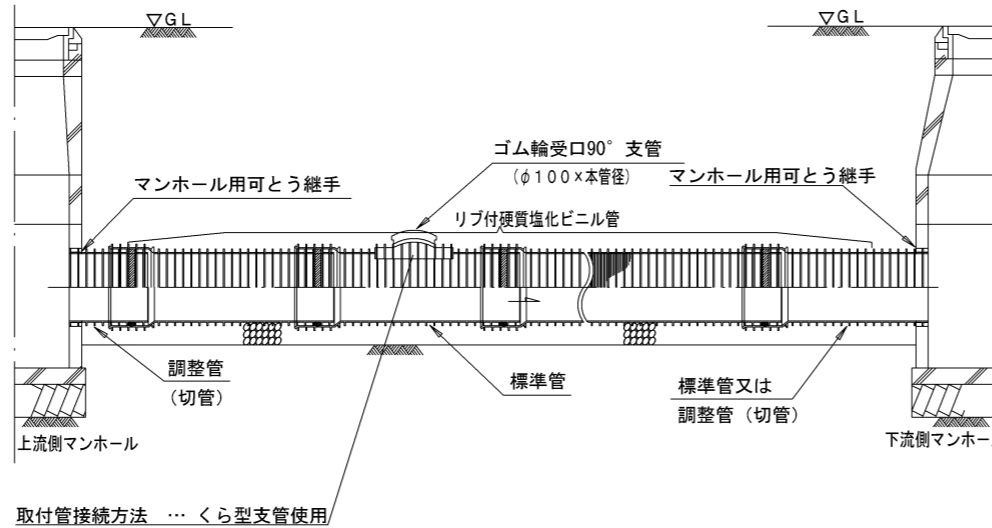
※ t寸法は、(D-D1)/2より求めた値である。

※基礎支承角90° (施工角180°)

砕石敷幅: $W1=W-2P$
 砕石敷高: $h2=DR/2+100$
 砂敷高: $h3=h1-h3$
 土留材厚: $P=40$

本管標準配管図

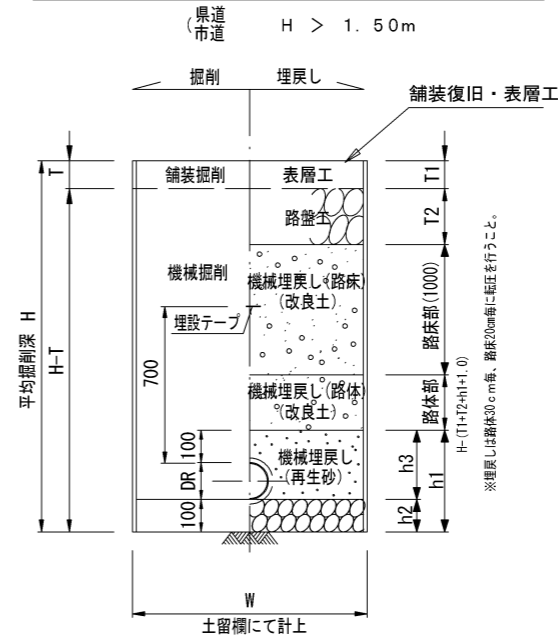
組立式マンホール → 組立式マンホール



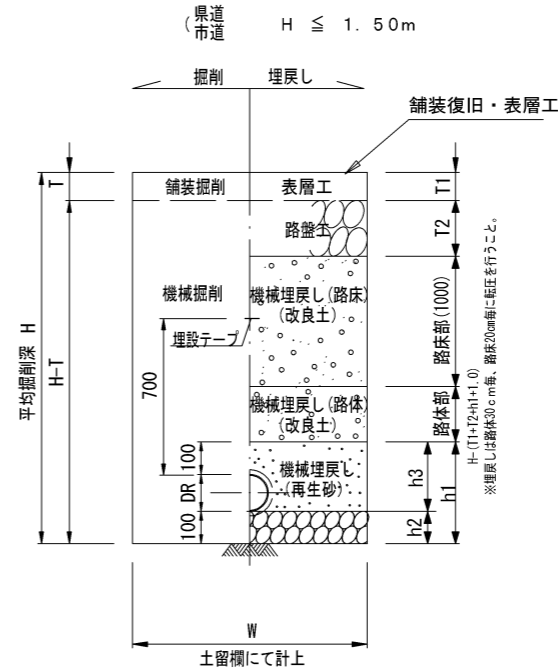
取付管接続方法 … くら型支管使用

土工標準図 (布設) S=1/N

リブ付硬質塩化ビニル管土工 (矢板)



リブ付硬質塩化ビニル管土工 (素堀)



寸法表

バックホウ規格 (m3)	管径 D (mm)	掘削幅 B	
		掘削幅	矢板
Bk0.08	PRP0150	600	850
	PRP0200		900
	PRP0250	650	950
	PRP0300	700	1000
	PRP0350	800	1050
Bk0.13	PRP0150	600	900
	PRP0200		950
	PRP0250	650	950
	PRP0300	700	1000
	PRP0350	800	1050
Bk0.28	PRP0150	600	1050
	PRP0200		
	PRP0250	650	1050
	PRP0300	700	
	PRP0350	800	

※ H: 平均掘削深
 W: 掘削幅
 D: 管外径
 DR: リブ外径
 T: 舗装掘削
 T1: 表層、基層、上層路盤
 T2: 下層路盤

※道路幅員 1.50m未满是、機械掘削及び機械埋戻しを人力施工とする。
 ※T1, T2は各道路の舗装構成に合わせる。
 ※路盤からの掘削とする。

埋戻し材料表

種別	細別	路床部	路体部
国道	車道部	C-40又は同等品 ※1	C-40又は同等品 ※1
	歩道部		・在来路床土で良質な土砂 ※2 ・修正CBR6以上の改良土
県道	車道部	・修正CBR20以上の流用土 ・改良土 (修正CBR30以上)	・修正CBR20以上の流用土 ・改良土 (修正CBR30以上)
	歩道部		
市道	車道部	・修正CBR20以上の流用土 ・改良土	・第3種以上の流用土 ・改良土
	歩道部		・第3種以上の流用土 ・改良土

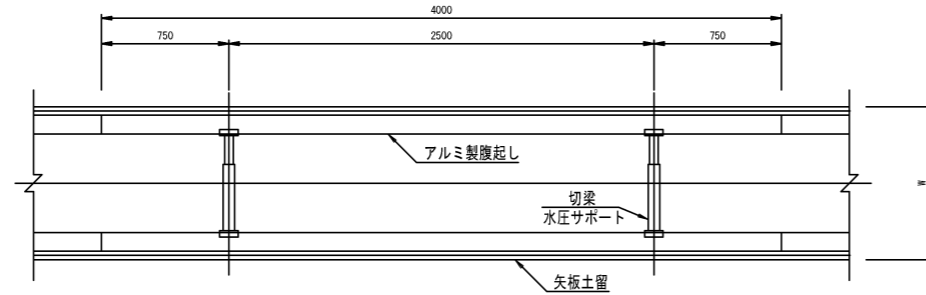
※1) RC-40はC-40と同等品とすることができる。(豊田維持出張所に確認済H20.8)
 ※2) 良質な土砂とは、礫、礫質土、砂、砂質土等で塑性指数IPが9以下の土。
 ※3) 埋戻しは20cm毎に転圧を行う。
 ※4) 人孔・取付管も本管施工と同様に施工する。

土留工標準図 S=1/N

矢板土留工

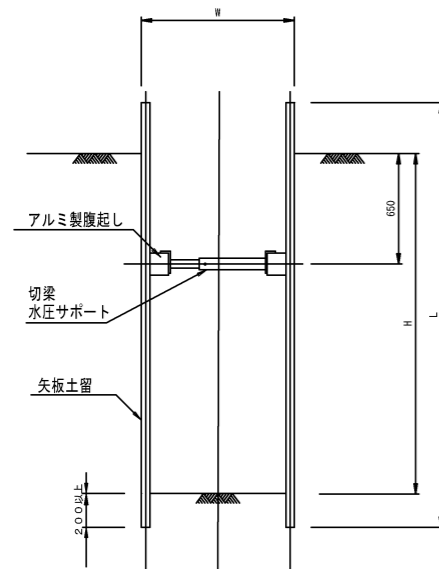
(軽量金属支保)

平面図

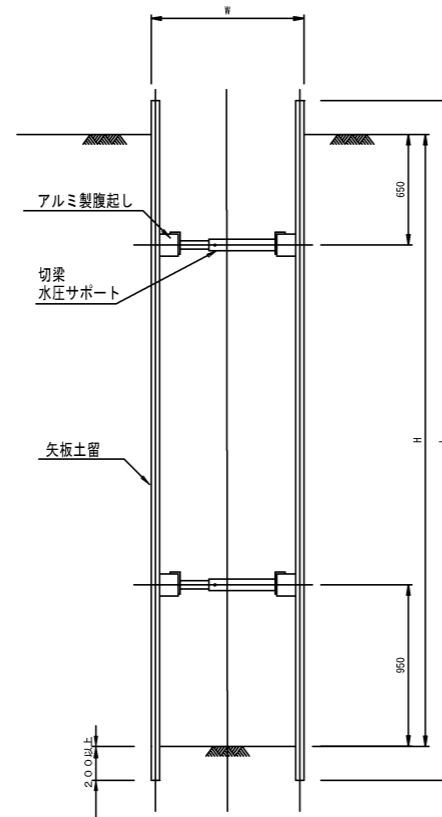


断面図

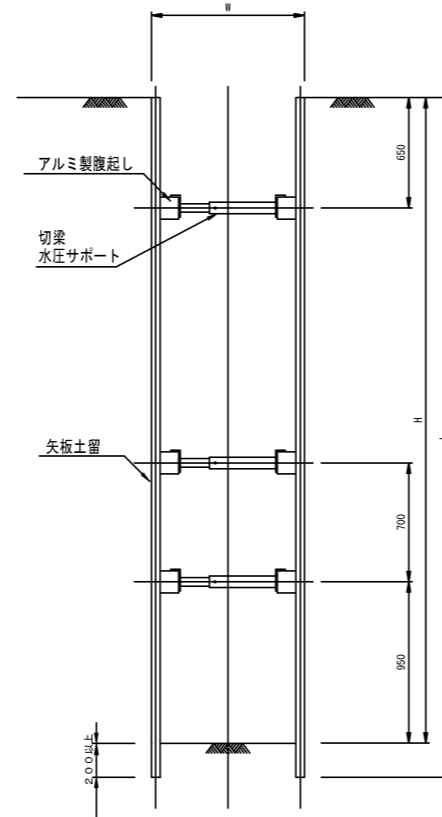
支保工 1段



支保工 2段



支保工 3段



寸法表

バックホウ規格 (m ³)	管径 D (mm)	掘削幅 W	
		表掘り	矢板
BHO.08	PRP0150	600	850
	PRP0200		900
	PRP0250	650	950
	PRP0300	700	1000
	PRP0350	800	1050
BHO.13	PRP0150	600	900
	PRP0200		950
	PRP0250	650	950
	PRP0300	700	1000
	PRP0350	800	1050
BHO.28	PRP0150	600	1050
	PRP0200		
	HPO250	650	
	PRP0300	700	
	PRP0350	800	

使用区分

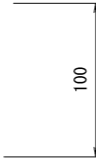
掘削深 H	矢板長 L (m)	支保工		
		段数	覆起し材 (アルミ製)	切梁り材
1.50m (H ≤ 1.80m)	2.000	1	* 断面係数 120cm ² 以上	水圧サポート
1.80m (H ≤ 2.00m)	2.500	1	* 断面係数 120cm ² 以上	水圧サポート
2.00m (H ≤ 2.30m)	2.500	2	* 断面係数 120cm ² 以上	水圧サポート
2.30m (H ≤ 2.80m)	3.000	2	* 断面係数 120cm ² 以上	水圧サポート
2.80m (H ≤ 3.30m)	3.500	2	* 断面係数 120cm ² 以上	水圧サポート
3.30m (H ≤ 3.50m)	4.000	2	* 断面係数 120cm ² 以上	水圧サポート
3.50m (H ≤ 3.80m)	4.000	3	* 断面係数 120cm ² 以上	水圧サポート

「建設工事公衆災害防止対策要綱の解説」土木工事編監修／
国土交通省建設経済局建設業課 編集／「(財)国土開発技術
研究センター」に基づいたものを使用する。

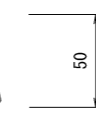
* 「道路土工 仮設構造物工指針」の小規模土留めの設計方法に準拠する。

下水道管埋設標識

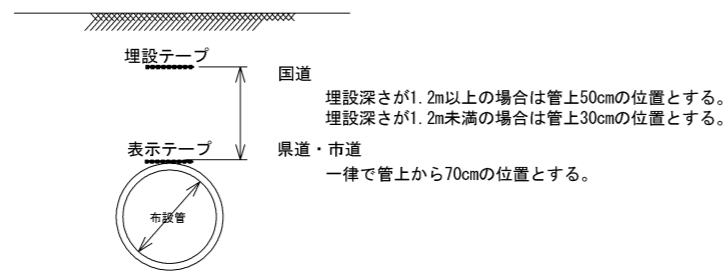
注意！この下に下水道管あり



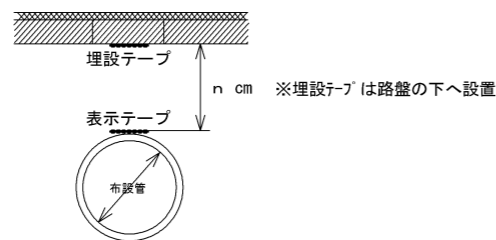
道(汚水) 豊田市下水道(汚水) 豊田市下水道(汚水) 豊田市下
豊田市下水道(汚水) 豊田市下水道(汚水) 豊田市下水道(汚水)



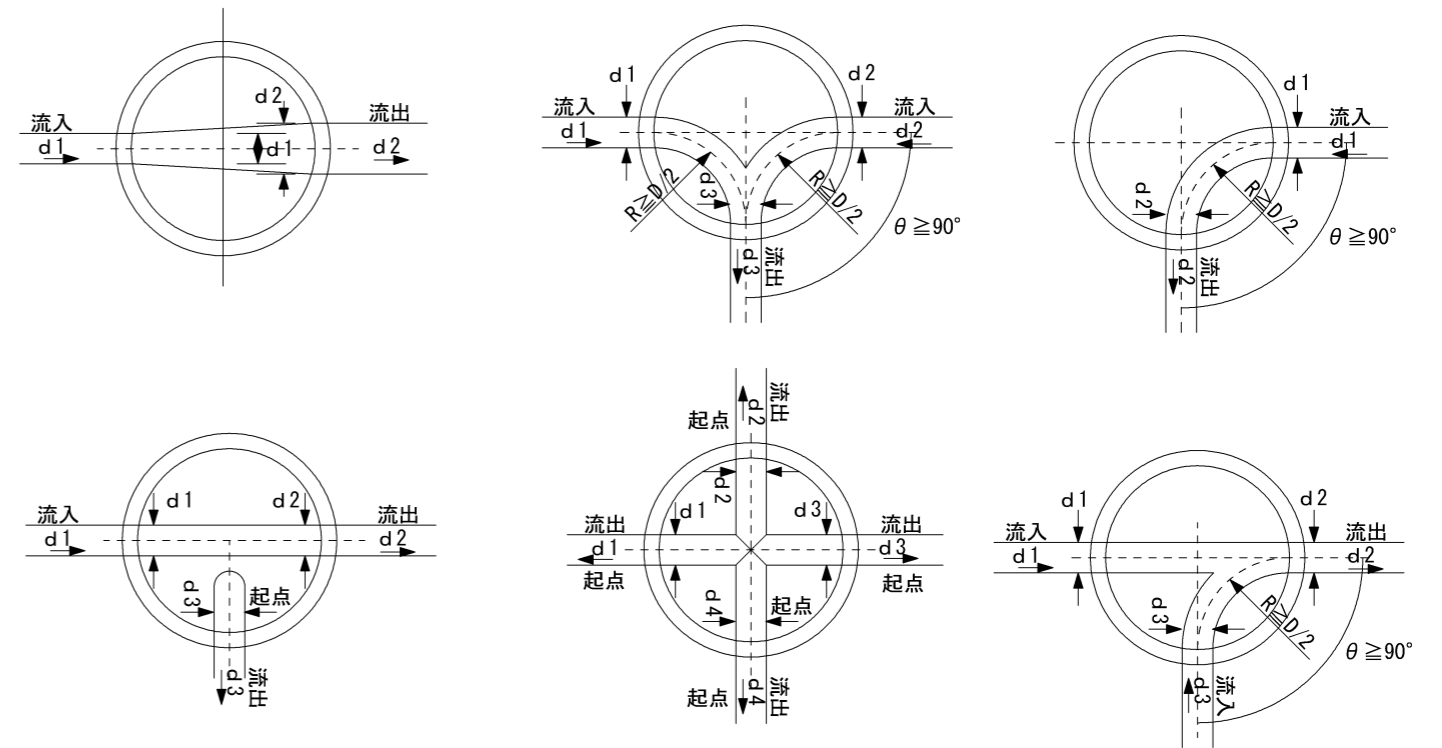
1. 標準埋設深以上の場合



2. 浅埋の場合の位置 ※浅埋は市道の特殊状況時のみ対象



インバート工標準構造図

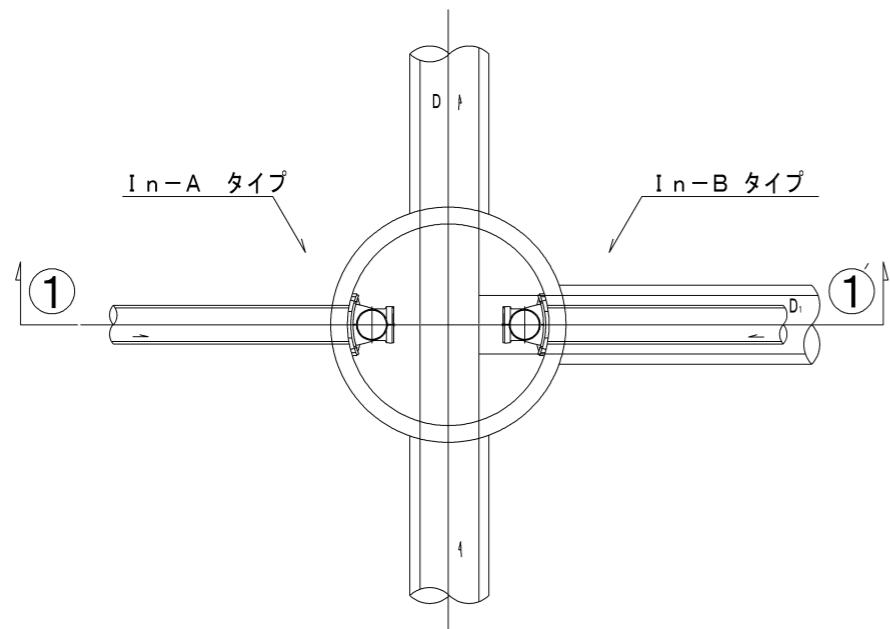


- 注) 1. 流出入角度 (θ) がやむを得ず $\theta < 60^\circ$ となる場合、段差を流出管の $d/2$ 以上かつ削孔可能なマンホール会合角に伴う必要段差を考慮する。
 2. 流出入角度 (θ) がやむを得ず $60^\circ \leq \theta < 90^\circ$ となる場合、段差を流出管の $d/3$ 以上かつ削孔可能なマンホール会合角に伴う必要段差を考慮する。
 3. インバートの曲率半径 (R) は、マンホール径の $1/2$ 以上を原則とする。
 4. インバートの曲率半径の BC 及び EC 点は、マンホール内壁と管の接合点とする。

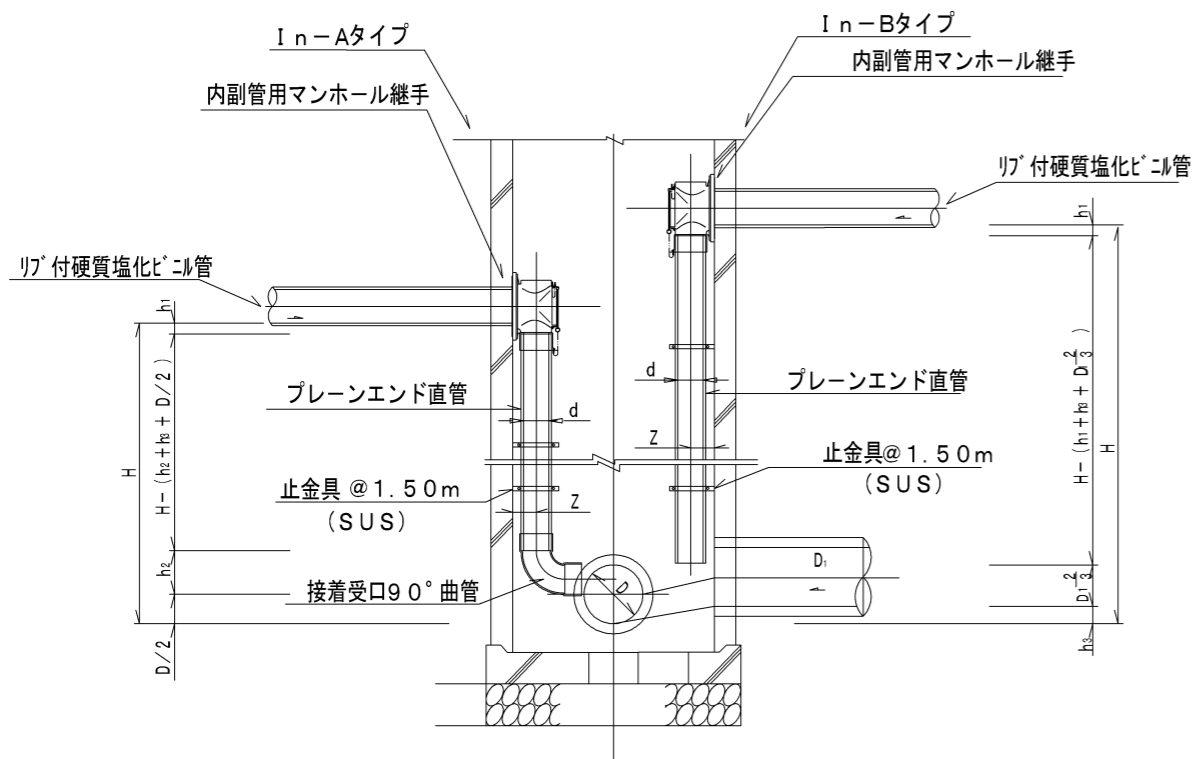
内副管工標準図 S=1/N

(1号マンホール内副管参考図)

平面図



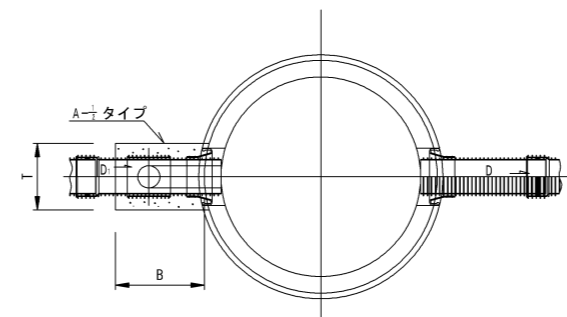
①-①' 断面図



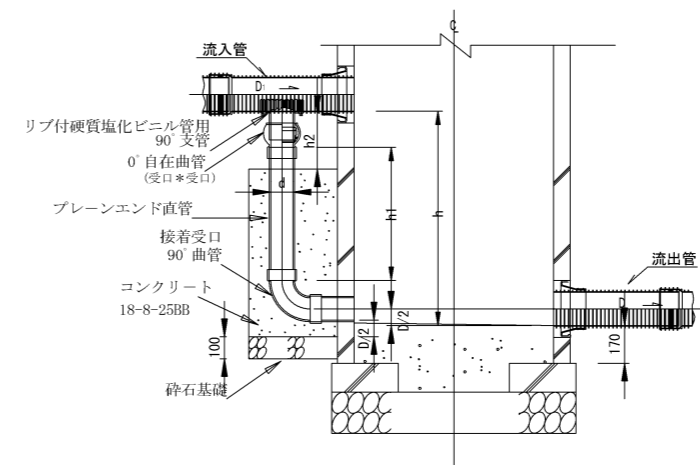
外副管工標準図 S=1/N

(リブ付硬質塩化ビニル管用 A-1/2)

平面図



断面図



副管(内)寸法

単位 mm

副管径 d	h ₁	h ₂	z
φ 100	90	178	89
φ 150	61	245	112

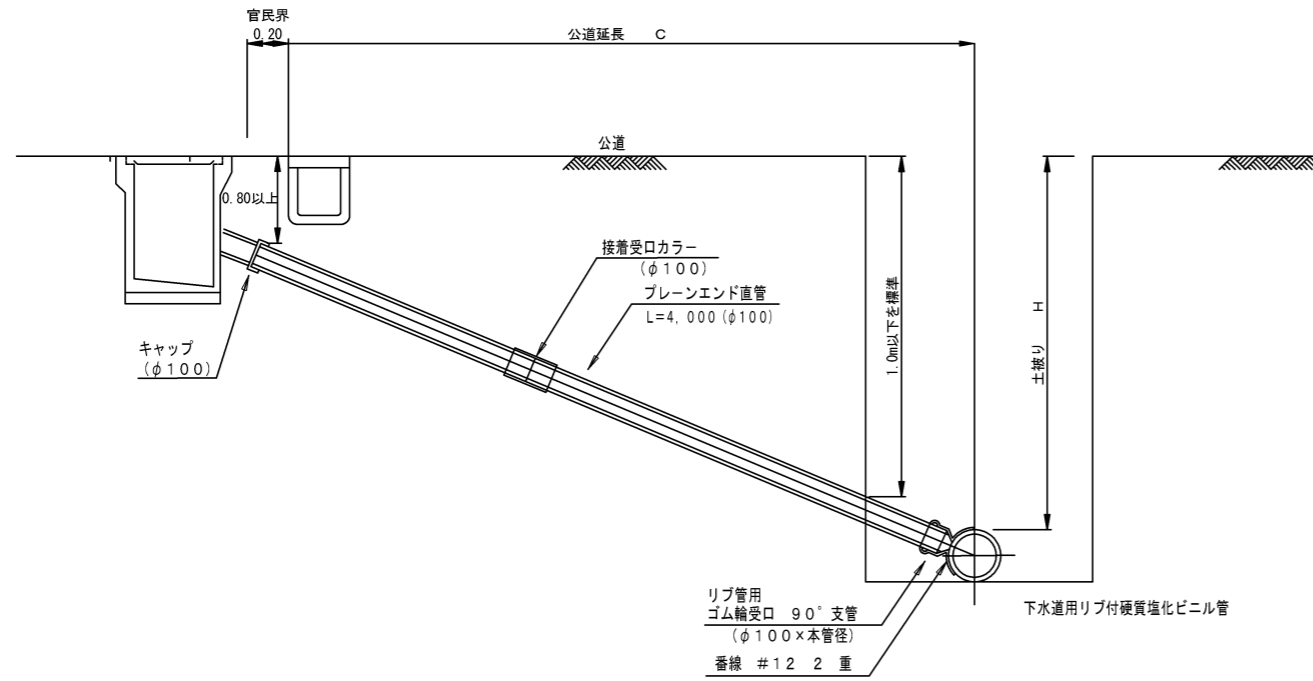
副管(外)及びコンクリート寸法

単位 mm

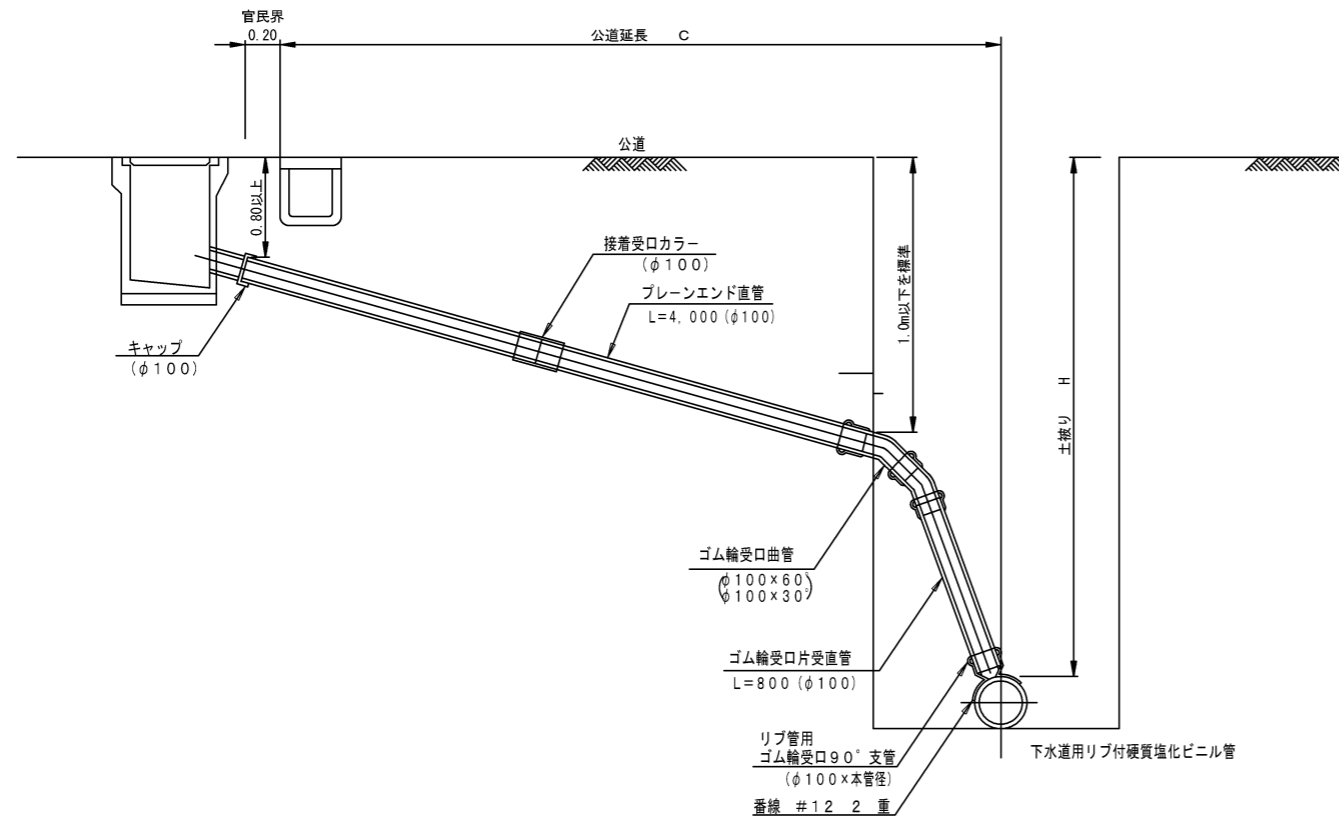
副管径 d	B	T	h ₂
φ 100	400	300	300
φ 150	450	350	400
φ 200	500	400	450

取付管標準図

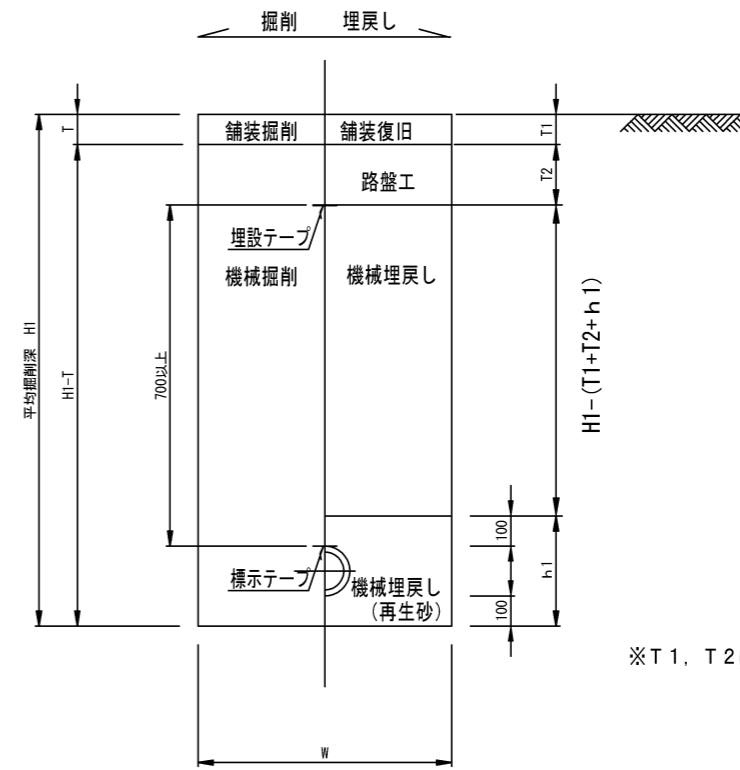
Aタイプ



Bタイプ



取付管土工図



※ T1, T2は各道路の舗装構成に合わせる。

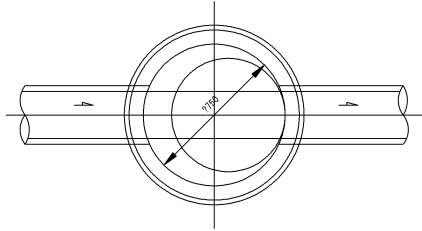
寸法表

バックホウ規格 (m3)	取付管径 D (mm)	掘削幅 W
		素掘り
BH0.13	VU0100	600
	VU0150	600

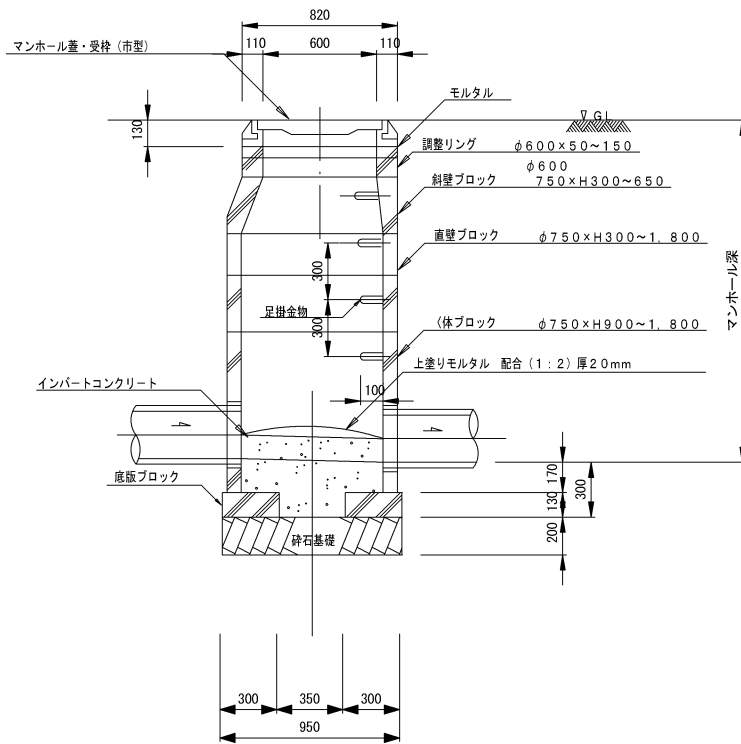
※埋戻材料・埋戻方法・舗装復旧については、管布設時と同様とする。

組立式0号マンホール標準構造図 S=1:40

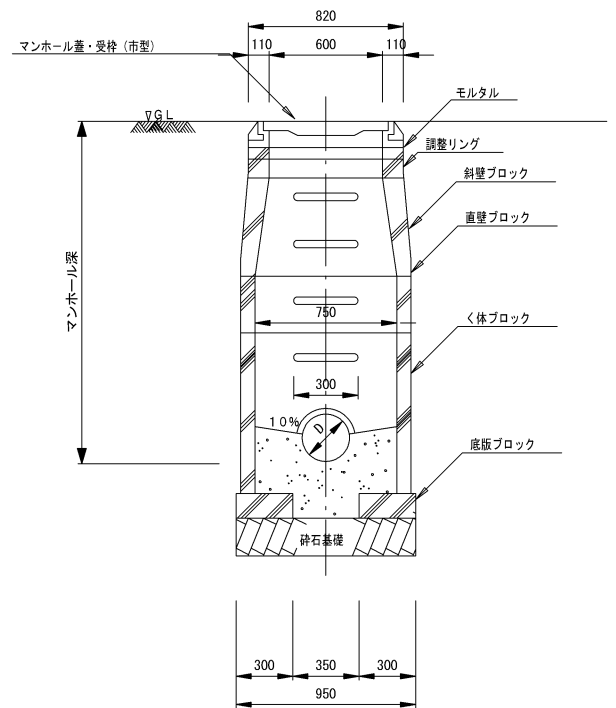
平面図



縦断面図

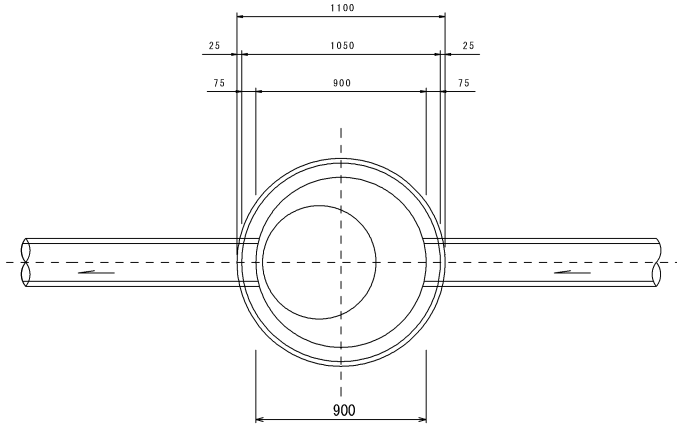


横断面図

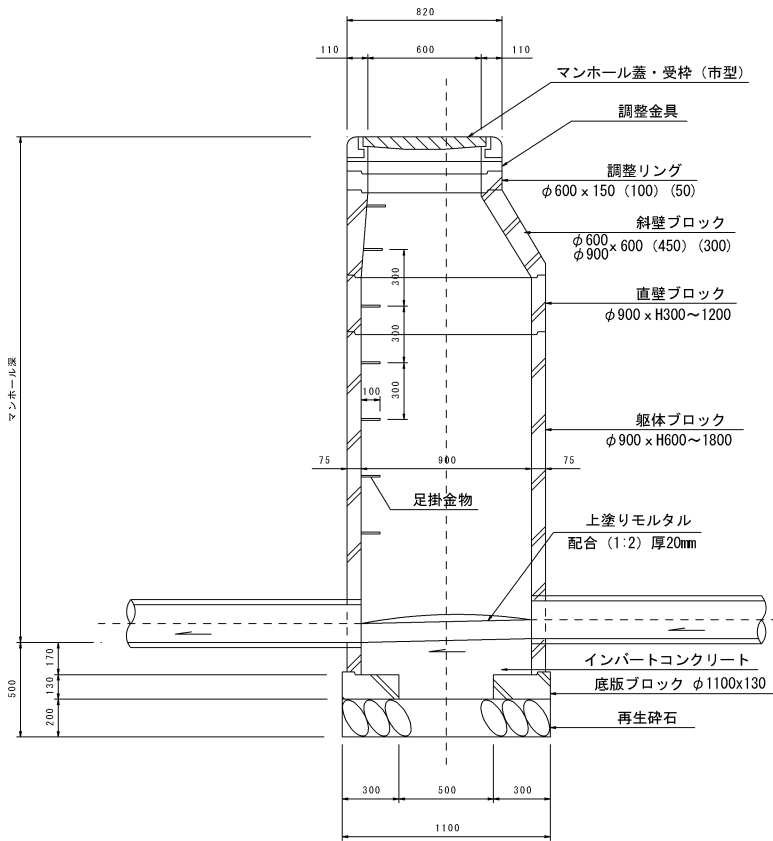


組立式 1号マンホール標準構造図 S=1:40

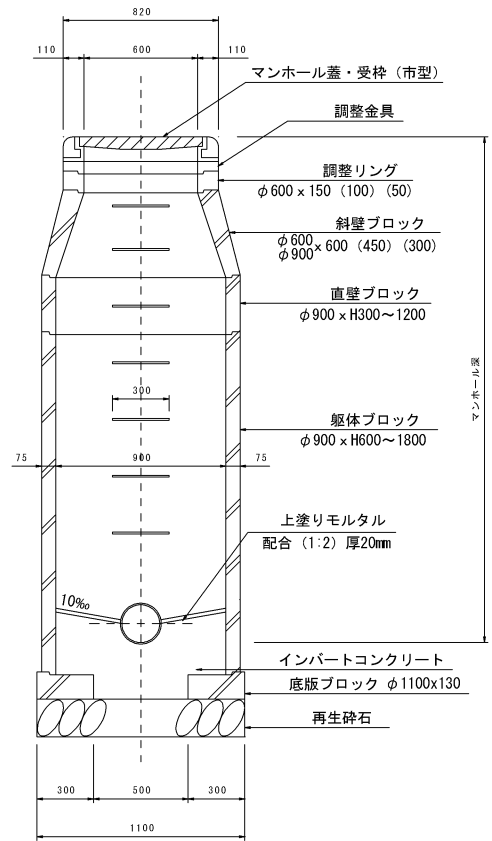
平面図



縦断面図



横断面図

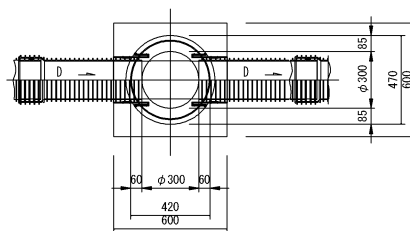


小型組立C号マンホール標準構造図

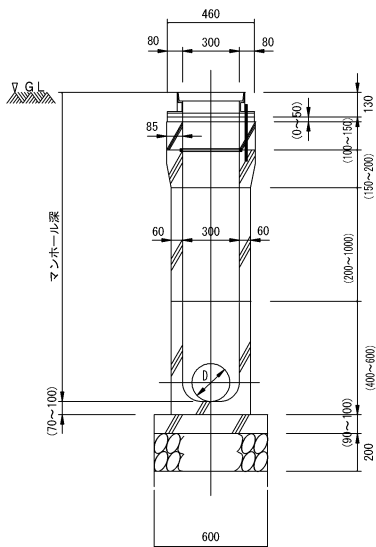
S = 1 / 40

(本管径 ≤ PRP φ150mm)

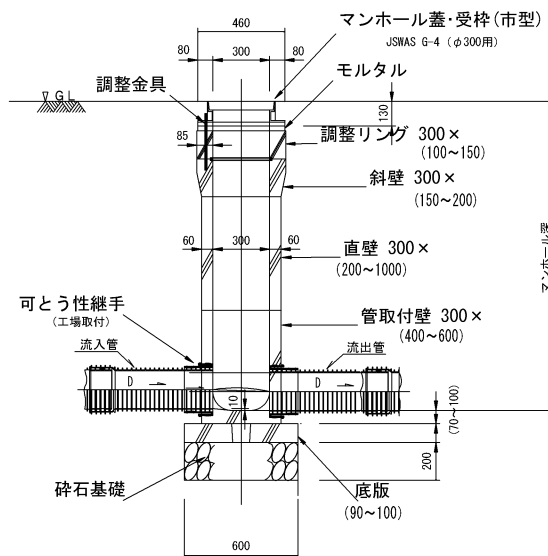
平面図



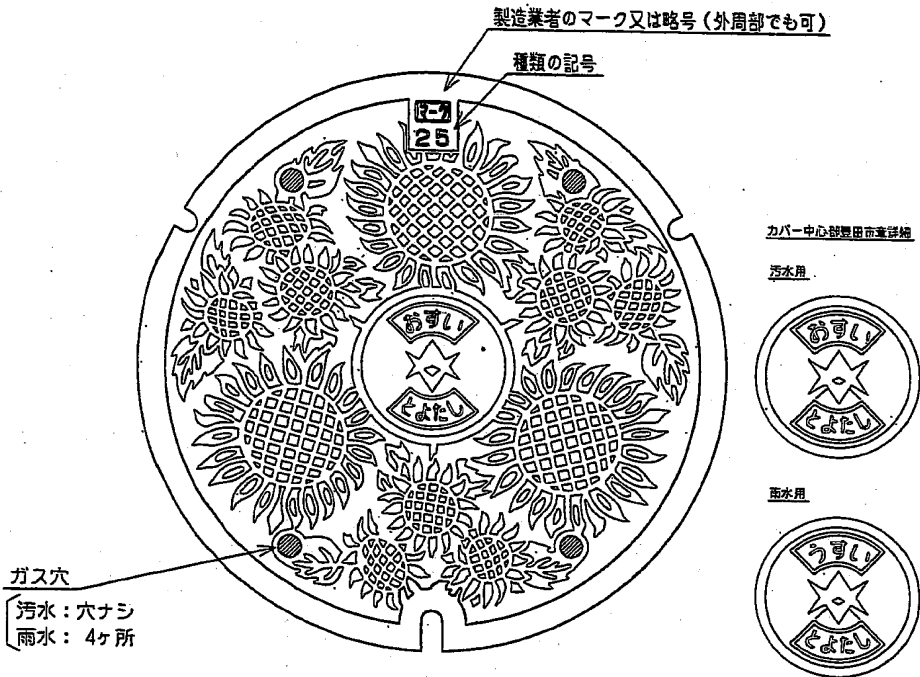
縦断面図



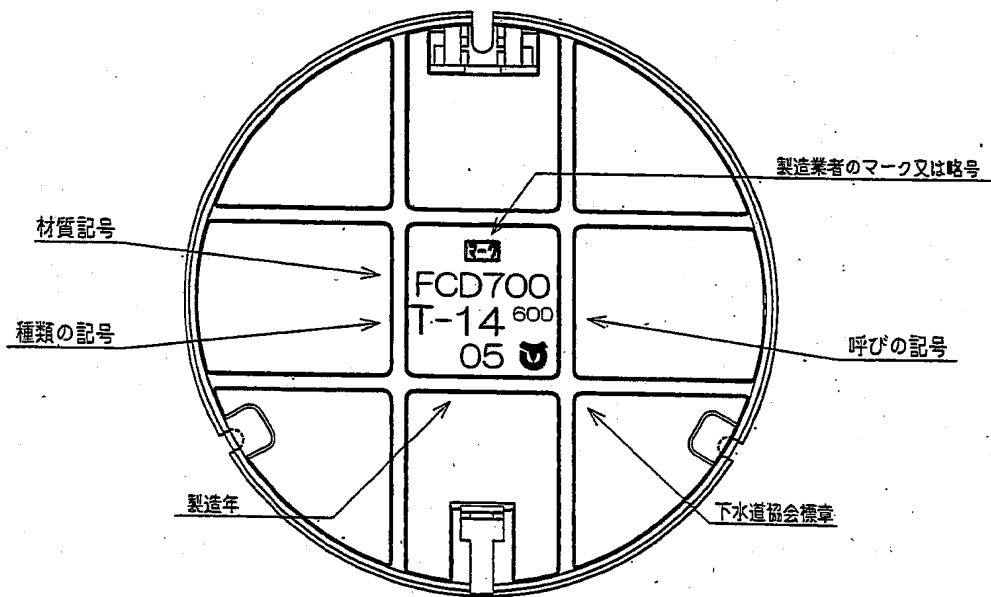
横断面図



鑄出し配置図



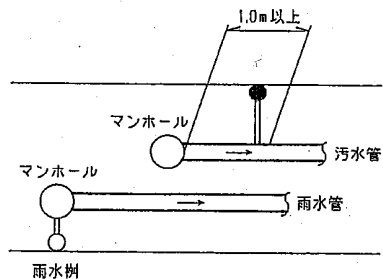
表面平面図



裏面平面図

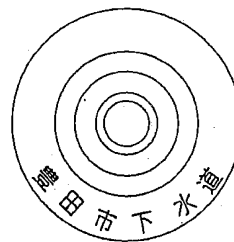
マンホールおよび汚水樹の設置位置

- ① 起点マンホールの位置は、汚水樹の場合には流量が少なく汚物がたまりやすいこともあって、マンホールからの臭いを防止するために、最上流の汚水樹から1.0m程度上流に設ける。つぎに、雨水樹の場合には、起点マンホールに直接取付ける方が管の掃除が容易なので、樹の位置を考慮して設定する。

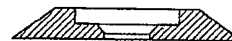


※ 取付管を先行し、汚水樹を設置しない場合埋設した取付管の真上に下図の目印をつける。

平面図 (S=1:1)

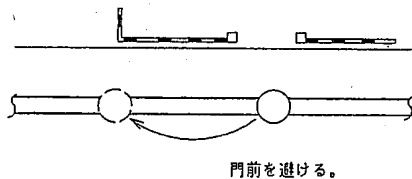


断面図 (S=1:1)



材質 プラスチック製
色 黄色

- ② マンホールの位置は、商店の出入口、家屋の門前、車庫の出入口などは、維持管理に伴う作業に支障となりまた防臭の面からも避けるようにする。



分類	4	図番	4
マンホール、汚水樹設置位置			
豊田市下水道標準			